

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語聴覚療法技術論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 木曜3限	教室名	第4校舎401
担 当 教 員	工藤悠世、丸山 めぐみ	実務経験と その関連資格	丸山:友愛会病院で言語聴覚士として勤務、成人(主に脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる。			
《授業科目における学習内容》						
対人援助職として必要とされる事柄を学び、臨床に必要なコミュニケーション能力や臨床態度を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①工藤:教科書『対人援助の現場で使える聴く・伝える・共感する技術便利帖』大谷佳子 翔泳社 2017 参考図書『人間関係が驚くほどうまくいく一言いたいことがきちんと伝わるレッスン』平木典子 大和出版 2008配布資料 ②丸山:配布資料						
《授業外における学習方法》						
授業内で受けた講義やグループワークの内容について、教科書および資料を基に理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床見学実習に向け、臨床で必要とされるコミュニケーション能力・臨床的態度について説明する。臨床見学実習時に活かせるよう、能動的に考え、学ぶ姿勢を身に付けていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	共感上手になる技術を獲得する①【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	心の動きに注目する、先入観と向き合う、思い込みから離れる 相手を基準において理解する、相手をありのまま受け入れる			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	共感上手になる技術を獲得する②【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	心の支えになる、感情を把握する、共感を効果的に伝える 共感できない時は振り返る、共感から援助につながる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	援助職のヒューマンスキルについて理解する【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	面接でのコミュニケーション技法、カウンセリング、コーチング スーパービジョン、アサーション、アンガー・マネジメント			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングを活かしていく方法を身につける【工藤】	教科書 配布資料	授業終了時に示す課題を実施しておく	
		各コマにおける授業予定	り講義の内容を振り返り、現在の自分・将来の自分にそれらをどう活かしていくか考える			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分自身について理解し、対人援助者としての自己成長に必要な自身の課題を明確にできる【丸山】	配布資料	ワークを通して、人によりよく知り合うための方法を復習する。 自分の性格や傾向について理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	対人援助者としての準備/自己理解/他者理解と自分の態度			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床で必要とされるマナーを理解できる【丸山】	配布資料	臨床場面におけるマナーについて、資料を元に復習する。
		各コマにおける授業予定	臨床で求められる姿勢、マナー		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床で必要とされる身だしなみを理解できる【丸山】	配布資料	臨床場面における身だしなみについて、資料を元に復習する。
		各コマにおける授業予定	臨床で求められる身だしなみ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習で求められる抗体価検査とワクチン接種について理解できる。実習に向けた行動計画を作成できる【丸山】	配布資料	見学実習に向けた行動計画表を確認する。
		各コマにおける授業予定	抗体価検査結果の読み取り方、ワクチン接種の考え方/臨床見学実習への流れ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	相手を知るための自由会話:よい聴き手・話し手になるための必要な方法を説明できる【丸山】	配布資料	授業で学んだ内容をまとめ、臨床見学実習に向けて自由会話の準備を行う。
		各コマにおける授業予定	臨床で必要なコミュニケーションについて		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	電話/手紙のマナーを守って電話をかけることができる/手紙を書くことができる【丸山】	配布資料	電話や手紙のマナーに基づき、電話をかける/手紙を書く
		各コマにおける授業予定	電話のかけ方、ご挨拶状/お礼状の書き方		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臨床場면을記述することができる【丸山】	配布資料	自分の作成したレポートを振り返り、「相手に伝わりやすい文章」について考える。
		各コマにおける授業予定	実習中のレポートの書き方について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	見学実習に必要な時間管理/健康管理/書類の管理をすることができる。【丸山】	配布資料	書類について理解し、適切に管理を行う。
		各コマにおける授業予定	見学実習に向けた自己管理、出席表の管理、個人情報保護に関する誓約書について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	自由会話を実施することができる(1)【丸山】	各自、自由会話の準備物	フィードバックの内容を受けて、自由会話の流れを修正する。
		各コマにおける授業予定	臨床で必要なコミュニケーション		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	自由会話を実施することができる(2)【丸山】	各自、自由会話の準備物	フィードバックの内容を受けて、自由会話の流れを修正する。
		各コマにおける授業予定	臨床で必要なコミュニケーション		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臨床見学実習を振り返り、次の臨床実習への自身の課題を見つけることができる【丸山】	配布のワークプリント	見学実習で得た内容をクラスで教習し、言語聴覚士の臨床業務についてさらに理解を深める。
		各コマにおける授業予定	見学実習の振り返り/見学実習での内容の共有		